

営農情報

平成28年6月10日

降雪による農業生産用ハウスの倒壊被害に対する支援を実施します

平成28年1月18日から19日の降雪により倒壊の被害を受けた農業生産用ハウスで、経営を再開するために必要な被害ハウスの撤去費用に対して支援いたします。

支援を受ける場合は、申請が必要です。下記まで連絡の上、手続きをお願いいたします。

1. 支援対象及び支援内容

- ①農業生産用ハウスで、経営を再開する目的で倒壊したハウスを撤去する場合を対象とします。
- ②撤去費用の事業額の算出額は、ハウス面積1㎡当り290円とします。(坪当り約958円)
- ③JAの支援額は、事業費の2/3とします。(千円未満は切捨てとなります。)

2. 申請の受付及び連絡、お問い合わせ先

- ①園芸と畜産の生産部会に加入している方は、園芸課及び畜産課へご連絡下さい。
- ②水稲等のハウスに被害を受けた方は、各地域のJA営農経済センターへご連絡下さい。

3. 申請受付期限 平成28年7月29日(金)まで

【連絡先】園芸課 西部：☎23-9173 東部：☎75-3312 畜産課 東部：☎75-3313 西部：☎23-6735
各地域のJA営農経済センターへご連絡下さい

農業電子図書館 (会員募集のお知らせ)

JAいわて平泉では、昨年4月より各営農経済センターにJA農業電子図書館を導入しております。水稲・園芸品目の栽培暦を平成28年度版に更新、各園芸・畜産部会便りは都度更新しておりますので、来店の際はぜひご利用下さい。

また、利用会員の募集も行っておりますので、自宅のパソコンやスマートフォンをお持ちで興味のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

～電子図書館の収録内容 (一部抜粋)～

- | |
|------------------|
| 作物の病害虫・雑草・農業登録情報 |
| 現代農業、農業技術大全の専門書 |
| JAいわて平泉独自ページとして |
| ○栽培暦、青果・畜産物市況 |
| ○各部会便り等更新しております。 |

～画面の紹介～



知りたい項目に
ポイントタッチ
してください

・年会費12,000円

・お問い合わせ先 JAいわて平泉

西部営農振興センター 営農振興課 担当：三浦 電話23-9176
東部営農振興センター 営農振興課 担当：小野寺 電話75-3311

○肥料の品質について

肥料は作物の品質や収量の向上のために施す資材で、肥料取締法で規制され、農家が安心して肥料を使用し、消費者が安心して農産物を食することができるように肥料の品質を保証しています。JA全農では、農家組合員が安心してJAグループの肥料を使っていたけように鋭意取り組んでおります。

○BB肥料と化成肥料の違い

化成肥料は1粒の中に窒素、リン酸、カリなどの肥料成分が含まれているのに対し、BB肥料は粒状の原料がそのまま配合された状態です。原料の組み

合わせを変え、いろんな成分の肥料を簡単につくることができます。

JA全農では土壌や作物、地域性、省力化などの担い手のニーズに応じたオーダーメイドBB肥料の普及拡大を進めています。

